

(2010/8/24版)

第4回赤道大気レーダーシンポジウム 第157回生存圏シンポジウム

日時: 平成22年9月1日(水) 13:30~18:30

2日(木) 9:30~11:50

場所: 京都大学 宇治おうばくプラザ きはだホール

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月1日

(座長: 橋口浩之)

13:30 - 13:40 あいさつ

赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 橋口浩之(京大RISH)

13:40 - 14:00 ウインドプロファイラ観測に基づいたインドネシア海大陸の降水活動に関する研究

柴垣佳明・村上和也(大阪電通大)・橋口浩之・田畑悦和(京大RISH)・濱田純一・森修一・山中大学(JAMSTEC)・下舞豊志・古津年章(島根大)・深尾昌一郎(福井工大)

14:00 - 14:20 海大陸西部の降水経年変動とENSO・インド洋ダイポールとの関連

濱田純一・森修一・山中大学(JAMSTEC)・Urip Haryoko(BMKG, インドネシア)・Fadli Syamsudin(BPPT, インドネシア)

14:20 - 14:40 X帯気象レーダーを用いた赤道域Ku帯衛星回線の降雨減衰統計の推定

宮本将佑・柴垣佳明・前川泰之(大阪電通大)・佐藤亨(京大情報学)・橋口浩之・山本衛(京大RISH)・深尾昌一郎(福井工大)

14:40 - 15:00 温帯および赤道域における衛星回線降雨減衰統計の年変動特性

前川泰之・柴垣佳明(大阪電通大)・佐藤亨(京大情報学)・橋口浩之・山本衛(京大RISH)・深尾昌一郎(福井工大)

15:00 - 15:15

=== 休憩 ===

(座長: 下舞豊志)

15:15 - 15:35 1.3-GHzウインドプロファイラ及びTRMM降雨レーダーを用いた赤道インドネシアにおける降水日変化の観測的研究

田畑悦和・橋口浩之・山本真之・山本衛(京大RISH)・山中大学・森修一(JAMSTEC)

15:35 - 15:55 Estimation of Raindrop Size Distribution Profile Using EAR and BLR: Case Studies during CPEA-I Campaign

Mutya Vonnisa・Toshiaki Kozu・Toyoshi Shimomai(島根大)・Hiroyuki Hashiguchi(京大RISH)

15:55 - 16:15 赤道大気レーダーと偏光ライダーによる融解層およびその周辺の詳細構造観測

妻鹿友昭・山本真之(京大RISH)・阿保真・柴田泰邦(首都大)・橋口浩之(京大RISH)・山中大学(JAMSTEC)・山本衛(京大RISH)・深尾昌一郎(福井工大)

16:15 - 16:35 カリウム原子フィルターを用いた赤道対流圏の気温観測用ライダーII

阿保真・長澤親生・柴田泰邦(首都大)

16:35 - 16:50

=== 休憩 ===

(座長: 柴垣佳明)

16:50 - 17:10 EARとラジオメータを用いた水の状態変化に関する研究

佐藤玄一・下舞豊志・古津年章(島根大)・橋口浩之(京大RISH)

17:10 - 17:30 圏界面中間規模波動に伴う上層雲について

児玉安正(弘前大院理工)

- 17:30 - 17:50 インドネシアにおける下部対流圏水平風 ～ウィンドプロファイラネットワーク観測と全球再解析データの比較～
田畑悦和・橋口浩之・山本真之・山本衛(京大RISH)・山中大学・森修一(JAMSTEC)
- 17:50 - 18:10 地球温暖化時のQBO
河谷芳雄(JAMSTEC)・Kevin Hamilton (IPRC, Univ. Hawaii)・渡辺真吾(JAMSTEC)
- 18:10 - 18:30 海大陸COEの現状
山中大学(MCCOE-PO/BPPT)・SATREPS-MCCOE研究班(JAMSTEC, 京大RISH, BPPT, BMKG, LAPAN)

9月2日

(座長: 西岡未知)

- 9:30 - 9:50 東南アジア域GPS全電子数観測の現状と今後の計画
津川卓也(NICT)・西岡未知・大塚雄一(名大STE)・齊藤昭則(京大理)・宇宙環境計測グループ(NICT)
- 9:50 - 10:10 東南アジア電離圏観測網(SEALION)の動向～チェンマイへの全天イメージャ導入と初期観測結果
久保田実・宇宙環境計測グループ(NICT)・大塚雄一(名大STE)・Tharadol Komolmis・Siramas Komonjinda(チェンマイ大)
- 10:10 - 10:30 インドネシアにおける夜間F領域沿磁力線不規則構造のVHFレーダー観測
大塚雄一・塩川和夫(名大STE)・小川忠彦(NICT)

10:30 - 10:50 === 休憩 ===

(座長: 大塚雄一)

- 10:50 - 11:10 2010年2月のチリ中部地震に伴う電離圏全電子数の変動
西岡未知・大塚雄一・塩川和夫(名大STE)
- 11:10 - 11:30 NICT衛星測位精度向上・利用促進プロジェクトの紹介
石井守・小山泰弘・長妻努(NICT)
- 11:30 - 11:50 インドネシアの宇宙天気研究推進と体制構築：プロジェクト紹介とEAR観測
山本衛・橋口浩之・山本真之(京大RISH)・大塚雄一(名大STE)・長妻努・津川卓也(情報通信研究機構)・Sri Kaloka(LAPAN, インドネシア)

お願い

(1) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)まで御連絡下さい。

(2) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

用紙: A4縦

ページ数: 2～6ページ

原稿締切: 2010年9月30日(木)

送付方法: WORDまたはPDFファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先: 電子メール: ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考: 白黒印刷で作成します。